

競技注意事項

1. 競技規則について
本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならび本大会規定によって行う。

2. 競技者の招集について

- ①招集はすべて現地招集とする。
- ②招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始15分前	競技開始10分前
フィールド競技(跳躍種目)	競技開始35分前	競技開始30分前
フィールド競技(投てき種目)	競技開始25分前	競技開始20分前

- ③2種目に出場し、競技時間や招集が重なっている場合は、事前に本部が準備した多種目同時出場届を本部席に提出すること。
- ④リレーについて。予選はオーダー用紙を記録室に競技開始60分前までに提出する。決勝はオーダー用紙を記録室に招集開始60分前までに提出する。
オーダー用紙提出後、提出メ切り時刻までであれば、変更して再提出することができる。

3. 競技運営について

- ①スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートをした選手は1回で失格とする。スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず「注意」にとどめる。
- ②トラック競技の予選種目はタイムレースとし、上位8名で決勝を行う。
- ③800m・1500m・3000m・1000mH・1100mHはタイムレース決勝とする。
- ④フィールド競技の走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投は3回の試技の上位8名が更に3回の試技を行い、順位を決定する。
- ⑤フィニッシュ後、ただちに決勝点に戻り、審判員の指示があるまでレーンにとどまる。
- ⑥決勝順位、記録等は掲示せず、放送のみで知らせる。
- ⑦天候により競技種目の日程の変更をすることがある。

4. アスリートビブスについて

- ①競技者は、競技中、胸と背に2枚のアスリートビブス(24×16cm・文字の大きさ6~10cm)をつけなければならない。ただし、跳躍競技は1枚のみでよい。

5. フィールド競技について

- ①走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技			
走高跳	男子	1m25	1m30~1m60	5cmずつ	1m63以降	3cmずつ
	女子	1m10	1m15~1m45	5cmずつ	1m48以降	3cmずつ
棒高跳	男子	1m80	2m00~2m60	20cmずつ	2m70以降	10cmずつ

- ②次の競技については、以下の記録に達しない場合は計測しないことがある。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投
男子	4m20	-	-	-
女子	3m80	-	-	-

※天候・その他の都合で計測ラインを変更することがある。

6. 表彰について

- ①各種目第3位までに賞状を授与する。表彰式は行わない。大会終了後、顧問が表彰係まで受け取りに来ること。
- ②学校対抗の得点は1位8点、2位7点 ~ 8位1点とする。
- ③男女別に、学校毎に得点を集計し、学校対抗戦とする。同点の場合は、1)各種目1位の多い方、2)各種目2位の多い方を上位校とする。

7. 競技場使用について

- ①競技開始後の競技場への入退場は、フィニッシュライン後方の出入口のみとする。また、本部前の通行は禁止とする。
- ②準備運動(ウォーミングアップ)は野球場(多目的グラウンド)で行う。投てき練習は、指定された場所でのメディシンボールのみ使用を認める。
- ③体育館の使用は禁止とする。
- ④貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各自で持ち帰ること。

8. その他

- ①選手は競技以外の場面では必ずマスクを着用しソーシャルディスタンスを確保すること。
- ②発声応援・集団応援は禁止とする。